

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2203125	キャリア形成V Career formation V	相原 英孝	専門	2	選択	3年集中前期

科目の概要

インターンシップは、学生に自らの専攻、将来のキャリアに関連した実務を経験させることにより、専攻科目の学習効果をも高めさせるとともに、実社会に即した職業観、職業意識を修得させることを目的としている。実習期間は夏季休暇中の1～2週間で、事前指導、事後指導を行い、学習の定着と発展を図る。自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を身につけるために必要な科目である。

学修内容	到達目標
① 自ら希望する企業で実際の仕事を体験する	① 自分から行動して、分からないことを質問して理解することができる。
② アルバイトでは、経験できない社員としての仕事を体験する。	② その業界について、よく知り、自分の適性を判断することができる
③ 仕事に必要なスキルを自ら体験して知る。	③ 獲得する必要の有るスキルを知って、獲得する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	インターンシップ先は、自己分析した結果より自分で探す
	働きかけ力	
	実行力	与えられた事に関して、間違いなく行うことができる
考え抜く力	課題発見力	実習の経験により、自分に欠けていることを知り、対応できる。
	計画力	
	創造力	実習で得た経験を就職活動に生かす事ができる。
チームで働く力	発信力	実習先で、自ら質問ができる。
	傾聴力	常に説明をしっかりと聞いて行動できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	時間に遅れない
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

他科目との関連、資格との関連

キャリア形成IVを受講することが必要です。

学修上の助言	受講生とのルール
実習先では、キャリア形成IVで学んだマナーを忘れず、意欲的に取り組むことを忘れない。	分からないことは、直ぐに問い合わせること。問題があれば、相談すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	90	①	✓	毎日、実習ノートを記入して、実習先に提出して、コメントを記入して頂く。コメントに対して、適切に対応することを忘れない。キャリア形成Ⅳ等で身につけた社会人としての常識を元に行動する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	実習の事前指導から、実習、事後指導を通じて、主体性を持って行動できる。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
無遅刻、無欠勤、ノート提出は当然のこと、言われたこと以外自ら、課題を発見して対応する事ができる。	無遅刻、無欠勤、ノート提出は、当然言われたことに対しても、しっかり対応する事ができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	募集説明	講義	説明を理解し、適切に対応することができる。	希望企業を調べ確認する。	60	主体性
2週 /	配属調整・決定	講義	配属希望を伝え、配属先を決定できる。	実際に実習に出掛けるシミュレーションを行う。	60	主体性
3週 /	事前指導	講義、演習	実習の心得、各種書類の作成、提出物が理解出来ている。	必要な書類の確認。	60	主体性 課題 発見力 傾聴力
4週 /	インターンシップ実習	実習	無遅刻無欠勤、言われたことは行う。ノート提出	1週間から10日間の自習中は、次の日の予定を確認する。疑問があるときはまとめ、次の日必ず質問する。	60	主体性 実行力 課題 発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
5週 /	事後指導	講義、演習	2年生のキャリア形成Ⅳで実習体験報告会で発表すえう。		60	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

